

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0164
施設名	大山保育園
施設所在地	板橋区大山町44-4
法人名	社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

身近な生き物や動植物を育て探求心を深める。

<テーマの設定理由>

- ・日頃から植物・花に興味があり、散歩に行くと植物を見つけては、図鑑で名前や特徴を調べたりする姿があった。
- ・事務所にいるメダカに興味があり散歩に出かける時に覗いて興味を示していた。
- ・年長クラスで飼っているカメをお世話する姿をずっと見ていて、自分たちがやるようになり、更に関心・愛着が湧いていた。

2. 活動スケジュール

- ・子ども達の興味があるものをどのように広げていけるか、担任間や全体に投げかけ話し合いを設ける。
- ・植物、花に関しては、色々な場所に出かけ散歩先・道中で見つけられるように活動設定する。
- ・食物に関しては、図鑑等数冊、室内に置いておき子ども達が自由に読んだり調べたりできるようにしていく。
- ・保育園最後のお別れ遠足では、子どもと話し合い、子どもの声を拾いながら興味・関心を深められるような場所を決めていく。
- ・カメのお世話の仕方を聞いて掃除し経験を通して、関心を広げていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・日々、自由に見られるよう本棚に図鑑を用意する。
- ・興味を持ったものを自由に描けるよう、画用紙・クレヨン・色鉛筆は玩具棚に設置しておく。
- ・全体で共通のものが見られるようマックスハブを使用し話し合いができるようにした。
- ・花を育てたり栽培ができるよう、花瓶・ペットボトル・プランター・土等を準備する。
- ・子どもたちが当番活動できるようカメの掃除道具（歯ブラシ・手袋・スポンジ）を準備する。

4. 探究活動の実践

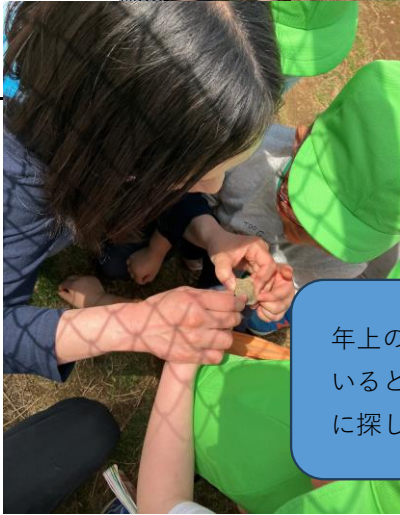
<活動の内容>

- ・クラスで飼っているカメのお世話を毎日行う。（餌やり・水槽内を洗う）
- ・毎月の誕生会で飾るお花を誕生会系の保育士と花屋に買いに行き、花の名前をお店の人に聞いて興味が広がっていく。幼児3クラスの花瓶に生ける。毎日花瓶の水を変えたり等お世話する。
- ・夏野菜の栽培を行う（ゴーヤ・オクラ）
- ・水耕栽培を行う。（じゃがいも・人参・小葱・大根・ほうれんそう）
- ・保育園の玄関で育てているゴーヤに興味を持ち、収穫して食べてみる。
- ・散歩先を子ども達と決めていく。
- ・お別れ遠足の場所を子ども達と決めていく。水族館に決定。
- ・水族館にはどんな生き物がいるのか調べる。
- ・遠足のグループ名を決めたり、館内の回る順番を決める。子どもたちには一番行きたい場所を決めて、マックスハブの画面上に○をつけてもらい、他グループと共有した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・散歩先に図鑑を持参することで、虫を見つける際に図鑑を見ながら観察して遊ぶことが日課となった。見つけた花が図鑑の中に入っていない際は、写真を撮り帰園後、図鑑を見て探す姿があった。図鑑の中に植物を使って遊ぶページがあり、保育者と一緒に作り楽しんでいった。
- ・毎日、カメの掃除を当番活動で行っていくことでカメの様子を気にして、声を掛けたり、元気がないときは保育者に心配そうに伝えることが増えた。
- ・お別れ遠足で行く水族館の様子を書面だけでは、楽しみと不安が両方見られたが、マックスハブで館内の様子を見ることで楽しみが増していた。
- ・水族館に行く子や魚の名前を知っている子は中心になって会話が弾んでいた。
- ・動画を見ながらグループで子どもたちと保育者が話すことで想像が付きやすく話が進んでいた。

虫探しをして、図鑑で調べているところ



年上の子が虫探しをしていると、年下の子も一緒に探し始めました。



夏野菜の栽培



桜のつぼみが木の根っこにできてる！
不思議だね！



ゴーヤってにがいの？



ゴーヤを収穫したので、ゴーヤチップにしてみました。

水耕栽培



カメ掃除



お別れ遠足

